

桜台だより

2015年（平成27年）1月19日 第30号
 発行・編集 桜台自治会広報部
 ホームページ <http://www.i-sakuradai.jp/>

市原市桜台自治会 検索 Click!

1面：有秋地区敬老会 2～5面：特集 桜台フェスティバル
 6面：「桜台フェスティバルを終えて」役員挨拶、ハイキング及び芋掘り大会
 7面：市民体育祭 8面：救急講習会、編集後記

桜台フェスティバル

平成26年11月8日（土）
 ～9日（日）の2日間で桜台フェ
 スティバルが自治会員相互の親
 睦と絆を深める場として開催さ
 れました。

いずれの会場もお客様が多数
 集まる大盛況なフェスティバル
 となりました。

（P2～P5に特集記事を掲載）



有秋地区敬老会

平成26年9月15日（月）
 敬老の日）有秋地区敬老会が姉
 崎保健福祉センター（アネッサ）
 で午前10時から開催され桜台
 からは52名の方々が出席され
 ました。

第一部式典では開会の言葉、

有秋地区社会福祉協議会会長祝
 辞、市原市長祝辞、

来賓者紹介、敬老者謝辞と続き
 開会しました。

第二部祝宴では敬老者体操で
 敬老者もスタッフの方々も体調
 を整える運動を行いました。

有秋中学校生徒さんの演舞と
 演奏が行われエイサー（沖縄踊
 り）が披露されました。

続いて生徒の皆さんによるブ
 ラスバンド演奏です。

曲目はありのまま、宝島、風
 になりたい最後はふるさとで会
 場の皆さんと歌い和やかな雰囲気
 を演出していただきました。



- ① 津軽三味線と踊り
- ② 敬老者体操で体調を整える参加者の皆様
- ③ 笑顔で参加のご夫婦

休憩の後、津軽三味線歌と踊
 り、太鼓の演奏で民謡は高山な
 おこ氏、太鼓は市川真司氏によ
 る演奏が行われ素晴らしさに会
 場は魅了されました。

演奏と踊りの余韻が残る中有
 秋地区敬老会は無事に終了いた
 しました。

◆敬老会に参加して◆ 福祉部

今年朝から晴天に恵まれ申
 込者53名のうち、お一人が欠
 席されましたけれど参加され
 た方々は、体操と祝宴を大変楽し
 まれておりました。



フェスティバル

青空市場

11月8日(土)と9日(日)の2日間にわたり作品展示が自治会館1階ホールで開催されました。展示会場も狭く感じられるほど沢山の素晴らしい力作が展示され、お客様が熱心にゆっくりと作品を鑑賞されていました。楽しかった桜台夏祭りの写真もパネル3枚に展示され、最終日には「写真をご自由にお持ち下さい」との掲示もあり、それぞれご自分の写真を手にされていました。

作品展示



いこの場

11月9日(日)午前10時から青空市場が自治会館駐車場で開催されました。10時の開店を前にお客様がお目当てのお店の前で並んでいました。売り切れて商品を補充しているお店もあり、お客様の青空市場への関心の高さがうかがわれました。

11月9日(日)午前10時からいこの場が自治会館前広場で開催されました。カレーライスとお汁粉が振舞われ皆さんそれぞれのテーブルで談笑しながら美味しそうに召し上がっていました。子供連れの大人も多く見受けられました。一時カレーライスとお汁粉の順番を待つ長い行列も





特集！桜台フ

ビンゴ ゲーム大会

ありました。カレーライスのご飯はかまどに薪を焚き大きなおかまで、非常食用のお米を蒸らして作られましたがとても美味しかったです。

演芸発表会に続きビンゴゲーム大会が同ホールで開催されました。司会者の方から

賞品は商品券、日用雑貨など多数用意をしています。当選者が多数の場合はじゃんけんで決め、司会者の方が「最初はグー」と言いますので会場の皆さんは「ジャケポン」と掛け声をかけてください。最初に当選された方

にインタビュアーをさせていただきました。と説明がありました。ビンゴゲームの始まりです。番号がアナウンスされる度に「あった」「残念」「やったー」などの声が聞こえてきました。

何度目かの番号がアナウンスされると、ビンゴ1番の方が壇のほうへ進まれ司会者からインタビュアーを受けられました。感想を聞かれると「今夜は寝られそうにありません」と答えられていました。

次々と当選者が出て商品を貰っていきます。最後の賞品では当選者が数名で白熱したジャンケンになり、会場から拍手と笑い声に包まれビンゴゲーム大会は無事終了いたしました。

楽しかった桜台フェスティバルも皆さんのご協力のおかげで無事に終了することができました。





カ

ラ

オ

ケ

大

会



カラオケ大会

11月8日(土) 午後1時より
自治会館2階大ホールでカラオケ
大会が開催されました。

開会挨拶に続き、審査委員長・
宮崎会長はじめ審査員の方々が紹
介されました。

当日は20名の方が参加され、
中にはご自分の歌に合わせた衣装
を身にまとい、プロ顔負けの振り
付けで熱唱され、会場を大いに賑
わせていました。

会場内の売店では、お酒やおつ
まみも販売され、司会者が次に歌
われる方を紹介すると会場からは
「○○さん」と掛け声と拍手が
起き、カラオケ大会は大盛り上が
りでした。

会場のお客さんから見えるテレ
ビに歌詞が映し出されますが皆さ
ん間違えず曲のテンポも完璧で素
晴らしかったです。

20名全員が歌い終わり審査結
果の発表です。会場は一瞬静まり
司会者の発表を待っています。司
会者から各賞の発表されると会場
から拍手が鳴りやまず参加者全員
をたたえています。

以下受賞者の方々です。

良かったで賞東城さん、見山さん、
市川さん、杉原さん、大竹さん
特別賞田村さん、坂本さん、竹内
さん、松本さん、前手さん



演

芸

発

表

会



演芸発表会

11月9日(日) 午後1時から
演芸発表会が自治会館2階大ホールで開催されました。

出演者は、箏曲演奏(おこと)、
謡曲・仕舞(西謡会)、舞踊(一秀会)、大正琴演奏(フレンズ)、
オカリナ演奏(オカリナさくら)、
ギター合奏(クラシックギター愛好会)の方々です。

おことの演奏で会場の皆さんと「花は咲く」を合唱し歌声が会場にこだまし和やかな雰囲気になりました。知った曲が演奏されると会場のあちらこちらから、曲に合わせて□ずさむ声も聞こえてきました。

出演者皆様の練習成果を披露していただきありがとうございました。

自治会長挨拶

演芸発表会は桜台住民の能力・技能の高さを示す機会で、ますます発展させていきたいと思っております。よろしくお願ひしますと述べられました。

ユーモア賞 中村さん、久保田さん、加藤慶子さん、加藤英夫さん
会長賞 甲野さん、中野さん、江藤さん
3位 相馬明子さん、2位 鈴木鈴子さん、1位 相馬國夫さん
皆さんおめでとうございました。

桜台フェスティバルを終えて

自治会長 宮崎 栄

前日からの雨予報でヒヤヒヤも、覚悟もしましたが幕を開けてみると好天に恵まれ、素晴らしい環境でのフェスティバルとなりました。

文化・体育部を始め、各担当別にご尽力いただいた皆さんには大変にご苦労様でした。御礼申し上げます。例年のことながら、作品展示、カラオケ、演芸発表と参加の皆さんの卓越した技とパフォーマンスを堪能させていただきました。改めて桜台の皆さんの素晴らしさを感じました。観客の皆さんも大いに楽しんでおられたようです。憩いの広場では、防災部と婦人会の皆さんの心温まるカレーとお汁粉が振舞われ、大勢の皆さんのお腹を満たしました。又、青空市場の売れ行きも順調で、例年以上に活況であったと思います。

準備、本番での反省事項等あると思いますが、充分確認していただいて、来年も今年以上に楽しくて、盛大なフェスティバルにできればと思います。

文化・体育部副部長 藤田洋子

心配されていた空模様も二日間共雨とは無縁で無事に桜台フェスティバルを終える事が出来ました。出展

者の方々にも心より厚く御礼申し上げます。

前日の午前中に会場設営が始まり午後は作品の展示です。出展者の方で飾り付けが行われ事前に配置図は作成したものの実際は難しい点もありました。経験者の方も多く、教えて頂きながら飾り付けも終了しました。

どの作品も力作ばかりで見に来られた方々も口々に「凄いね。見事な作品だね。」とお褒めの言葉を頂きました。談話室では手作りの真空管アンプによる素晴らしい音色も流れていました。

このフェスティバルを通して地域の方との親睦もより一層深められた事と思います。

出席者の方々、文化体育部の皆さんのご協力を頂きました事、心より深く感謝申し上げます。ますます地域の絆が深まり優しく温かい地、桜台でありますように。

ハイキング及び芋掘り大会

平成26年10月25日(土)に社会体育振興会主催の「有秋地区ファミリーハイキング及び芋掘り大会」が開催されました。

当日は絶好のハイキング日和となり午前9時に有秋南小学校体育館前

に集合した約50名の方々は受付を済ませ参加費を支払いました。

当日の責任者で引率をして下さる体育協会の安倍さんからハイキングコースの説明がありました。

行きは有秋南小↓鎌倉街道・御所覽塚・須軽田坂↓安誠寺↓出光GS↓姉崎袖ヶ浦IC歩道↓鎌田農園まで約6・5キロメートル。

帰りは最短距離で鎌田農園↓エネオスGS↓桜台2丁目↓桜台3丁目↓有秋南小まで約2・5キロメートル。

安倍さんを先頭に鎌田農園を目指して出発です。

皆さん周りの景色を楽しむように談笑しながら歩いていきます。途中、安誠寺で休憩し記念写真を撮りました。

行きの6・5キロメートルを歩き鎌田農園に着くと農園の方がさつま芋を入れるビニール袋を用意されていて受け取り、ビニール袋に自分の名前を書きさつま芋畑に案内されました。

さつま芋畑に行くと一人5株の区分けがしてあり既にさつま芋掘が始まっています。

子供さんは大きなさつま芋が掘れてとても喜んでいきます。大人の方も掘ったさつま芋をビニール袋に入れています。

さつま芋掘が終わると昼食で、鎌田農園の庭に皆さんが座れるように青いシートが敷いてあり、豚汁を振



舞われ皆さんそれぞれ昼食を召し上がっていました。

昼食後の休憩時間にたくさんのお土産が準備されたビンゴ大会が行われ楽しいひと時を過ごしました。さて、鎌田農園を後にして帰路

につきましました。さすがに多少疲れが出たのか列が長くなったようですが、無事有秋南小に帰ってきました。

既に鎌田農園が皆さんの掘ったさつま芋をトラックで有秋南小に届けられていて、自分の名前が書かれたビニール袋を受け取り今日のハイキング及び芋掘り大会は終了いたしました。

市民体育祭

10月4日(土) 9時、台風18号接近の中、しばしの好天に恵まれ第四十一回市原市市民体育祭有秋地区大会が有秋南小学校で行われました。

全チーム老若男女の元気な入場行進を皮切りに(写真①)、大会委員長挨拶、選手宣誓が行われいよいよ競技の始まりです。競技はラジオ体操(写真②)、3分間ジョギングで身体をなら

し、ムカデくんナイスRUN!では意気の合ったムカデ走りで2位(写真③④)。

菓子食い競争(写真⑤)、めざせホールインワン(写真⑥)、100m競争(写真⑦)、大小ボールで大迷走、祭り太鼓(写真⑧)、沖縄民謡エイサー踊り(写真⑨)、吹奏楽演奏、有秋OXクイズ(写真⑩) 元気に玉入れ、50m競争、長縄跳び(写真⑪)、小学校対抗綱引き、綱引き(写真⑫) 地区対抗リレー(写真⑬)と多種目にわたり、

綱引き長縄跳びは男女各10名の参加で行われました。

綱引きは準決勝で初回を制したものの、決勝でエンジチームに惜しくも敗退してしまいました。

長縄飛びは一回目五十二回と凄いパワーで跳びきり、二回目を大いに期待しましたが、残念ながら一回跳ねて撃沈!それでも全チームで断トツ一位となりました。

有秋OXクイズ、第一問「南小の全校生の人数は200人よ

り多い」という問題で始まり、全校生は190人で「X」が正解。参加した小学生の何人かは自信を持って「O」に集まるも「えっ」と1問目で敗退!

今大会最後の種目、地区対抗リレーでは最後の逆転を駆け奮闘するも力及ばず。桜台チームは参加者一丸となつて戦いましたが総合成績は昨年同様3位(写真⑭)オレンジ色が桜台チーム)。

選手、応援、運営で参加された皆様、お疲れ様でした。



救急講習会

平成26年10月26日(日)
10時から12時まで福祉部主催
の救急講習会が桜台自治会館2階
大ホールで開催されました。

講師は姉ヶ崎消防署の方々で
「救命講習について」「AEDの役
割と使い方について」わかり易く
講義をいただきました。

1・心肺蘇生

倒れている人の心肺蘇生の手順
肩をたたきながら「わかりますか」
と声をかける。反応がなかったら
「誰か来てください。人が倒れて
います」と大声で助けを求め、1
19番通報とAED搬送を依頼す
る。あなたは119番通報してく
ださい。あなたはAEDを持って
きてください。と具体的に指名す
ることが大事。

呼吸を確認する。

胸と腹部の動きを見て「普段通
りの呼吸」をしているか10秒以
内で確認します。

普段通りの呼吸がなかったらす
ぐに胸骨圧迫を30回行う。胸骨
圧迫は胸の真ん中を押す。

胸骨圧迫の後、人工呼吸を2回

行う。

約1秒かけて、胸の上りが見え
る程度の量を、2回吹き込みます。
胸骨圧迫30回と人工呼吸2回を
繰り返し行います。

2・AED操作

AEDは自動体外式除細動器で
す。AEDが到着したらまず電源
を入れる。音声ガイダンスに従い
操作する。

電極パッドを胸に貼る。

皮膚にしっかりと張りませす。体
が汗などで濡れていたら、タオル
等で拭き取ります。

電気ショックの必要性は、A
E
Dが判断する。

心電図解析中は、傷病者に触れ
てはいけません。

ショックボタンを押す。

誰も傷病者に触れていないことを
確認したら、点滅しているシヨッ
クボタンを押す。

以後はAEDのメッセージに従
います。

心肺蘇生とAEDの操作は救急
隊に引き継ぐか、普段通りの呼吸
ができるまで続けます。

以上のような詳しい説明があ
り、参加者の皆さんも真剣に心肺
蘇生とAED操作について実施訓
練を行いました。



①指導にあられた姉ヶ崎消防署の方々
②真剣な表情で説明を受ける参加者の皆様
③④⑤心肺蘇生とAED操作の実地訓練を受ける参加者

編集後記

季節の移ろいは早いもので春
には満開の花びらをひろげてい
た深城池のソメイヨシノ達も、
凍てつく寒さの中、今ではひっ
そりと次の春の訪れを待ちわび
ています。

昨春より私たちが編集して参
りました「桜台だより」も今号
を持ちまして今年度の役目を終
え、次年度の広報部の方々へと
引き継がれていきます。

最初は戸惑いと、慣れない役
割を無事に一年間務めることが
出来るのだろうかという不安の
中でスタートした広報部でした
が、号を重ねるごとに不思議と
部員の中で連帯感が生まれ、広
報誌作りの楽しさも感じてくる
ようになりました。幸いにも今
年度は「桜台オッサ節」誕生の
記念すべき年とも重なり、やり
甲斐のある広報部活動を通じて
私達の街、桜台の大切な歴史の
1ページを皆様に伝えることが
出来ました。広報部一同心より
感謝すると共に、いつまでも心
温まる桜台であることを祈り、
ここに筆を置きたい思います。
一年間で愛読ありがとうございました。

広報部一同